

かわ ひと おも  
変った人と思われたイエスさま

ふくいんしよ  
マルコによる福音書

主日のミサの聖書朗読の配分は3年周期になって  
います。今年はB年にあたり、福音はマルコが朗読さ  
れています。今日の聖書の箇所を理解するためには、  
どうしても始めから読んでみる必要があります。マル  
コによる福音では、マタイとカルカのように、イエス  
さまの教えをあまり伝えていません。むしろ、イエス  
さまの行ないを簡単に述べています。マルコではイエ

スさまそのものが福音なのです。

イエスさまの行動を見てみると、当時の社会の中で  
罪人とみなされ、神さまから見離された人として、み  
んなからのけものにされている人々のところに行っ  
て、「あなたがたこそ神さまに招かれた人々だ」と言っ  
て回ります。また、「安息日は、人のために定められ  
た」と主張し、大胆に行動します。

かわ ひと おも  
変った人と思われたイエスさま

イエスさまの言葉と行いは、当時の人々にとって、  
常識外れのことでした。身内の人々にしてみれば、

自分たちの身内から、変人が出てもらっては色々困ったことになるかと考えたに違いありません。このことは、現代でもよくあることだと思えます。しかし、イエスさまは私たちに呼びかけています。たとえば、身内の人々から、おまえは常識外れのことをしていると非難されても、神さまのみ心を行なうようにと求めています。

現代社会の中で、福音の精神にしたがって発言し行動すれば、近所の人々から白い目でみられるかもしれません。しかし、イエスさまは私たちにも同じよ

うに行動するよう求めているのです。イエスさまが大切にされていたものがなんだったのか考えて、次の空白に書いて下さい。

